A-1-1

投稿論文作成について

（日本機械学会指定テンプレートファイル利用について）

講演番号：変更不要

Making Research Paper

(About the Use of the JSME Specification Template File)

機械 太郎\*1，○正　技術 さくら\*2

発表者には○を記載，発表者は氏名の前に会員資格を記載する．正員：正，学生員：学

機械 二郎\*1，機械 三郎\*1，東京 花子\*3

Taroh KIKAI\*1, Sakura GIJYUTSU\*2,

Jiroh KIKAI\*1, Saburoh KIKAI\*1 and Hanako TOKYO\*3

\*1 日本機械大学　Nihon Kikai University

\*2 信濃町大学　Shinanomachi University

\*3 機械株式会社　Kikai Corporation

**Key Words** : Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4,…(Show three to five keywords.)

●原稿の規定ページ数と著作権および表彰について

　IIP2023情報・知能・精密機器部門（IIP部門）講演会では，以下2種類の講演原稿フォーマットを準備した．

1. 原稿枚数1ページ限定：英文アブストラクト無し講演原稿

　・IIP部門賞各賞，日本機械学会若手講演フェロー賞の選考対象にならない．

・著作権は著者本人に帰属する．（日本機械学会への譲渡なし）

　・講演会終了後，J-Stageへの掲載なし．

1. 原稿枚数2～6ページ以内：英文アブストラクト付き講演原稿

・IIP部門賞各賞，日本機械学会若手講演フェロー賞の選考対象になる．

・希望者のみ，講演会終了後に著作権を日本機械学会に譲渡し，講演論文集としてJ-stageに掲載する．

著者はどちらかを選択し執筆する．このテンプレートは1）のフォーマットであるので1ページを超えないように執筆する．1ページを超える場合は2）の別フォーマットになるので注意いただきたい．

文章の区切りには全角の読点「，」（カンマ）と句点「．」（ピリオド）を用いる．カッコも全角入力する．本文中の文字の書体は，明朝体・Serif系（Century，Times New Romanなど）を利用する．原則として章にわける必要はないが，項を設ける場合には，本書式の例のようにゴシック体を使用する．ページ番号は不要である．執筆後はPDFファイルに変換し，容量は１ファイルあたり2 MB以下とする．

●原稿の作成に際して

原稿の冒頭には，和文の表題，英文の表題，著者名，ローマ字著者名，和文とローマ字連絡先所属機関を入れる．発表者に○をする．発表者の前に会員資格を記載する．

●表題及び副題の付け方

原稿の表題は内容を明確かつ簡潔に表現するものが望まれる．また，必要に応じて副題を付けてもよい．

●表題及び副題キーワードの付け方

キーワードは論文の内容を代表する重要な用語である．キーワードは3~5語句とし，前置詞・冠詞も含めない．

●その他

参考文献の記載法は末尾の通りとする．

図表については，「2~6ページ書式」の「4.　図及び写真・表の作成に関して」部分を参照のこと．

文　　　献

1. 新宿太郎，渋谷二郎，“論文の書き方”，日本機械学会論文集A編，Vol. 52, No. 485 (1987), pp. 111-116.
2. Keer, L.M., Knapp, W., and Hocken, R., “Resonance Effects for a Crack Near a Free Surface”, *Transactions of the ASME, Journal of Applied Mechanics*, Vol. 51, No. 1 (1986), pp. 65-69.